

SophosAnti-Virus の SnowLeopard(MacOS10.6)での対応について。

お使いのマシンの OS を SnowLeopard にアップデートする際にウィルスソフトも SnowLeopard 対応バージョンにアップデートする必要があります。
順を追ってアップデートの説明をしていきます。

1.バージョンの確認



画面右上のアンチウィルスのソフトのアイコン(盾の形をしています)をクリックして出てくるプルダウンメニュー図1の一番下にある「SophosAnti-Virus について」をクリックします。



すると図2の画面が出来てきますので、ここに表示されているバージョン XXXX を確認します、この画面ですと「バージョン 7.05」です、ここが 7.05 以前の方は必ず SnowLeopard にアップグレードする前に次から説明する作業が必要になります、7.05 になっている方はこの後 SnowLeopard を進めてください。

2,旧バージョンのアンインストール

まず旧バージョンのアンインストールから始めていきます。

デスクトップ画面右上にあります Macintosh HD (お使いの環境によって名称が違う場合があります)を開きます。

その中のライブラリフォルダにある「SophosAnti-Virus」のフォルダを開きます。

「SophosAnti-Virus

フォルダが見つからない場合は「Application Support

の中を見ます。図3

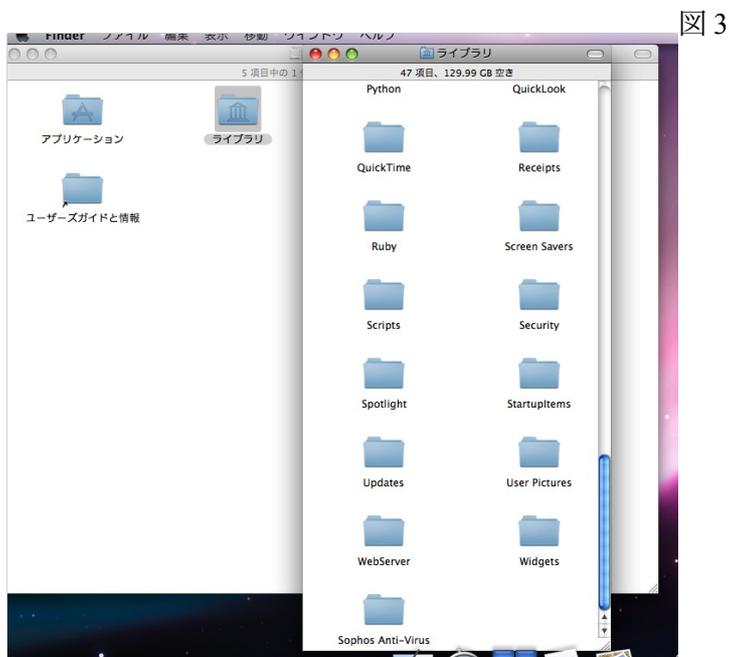


図 3

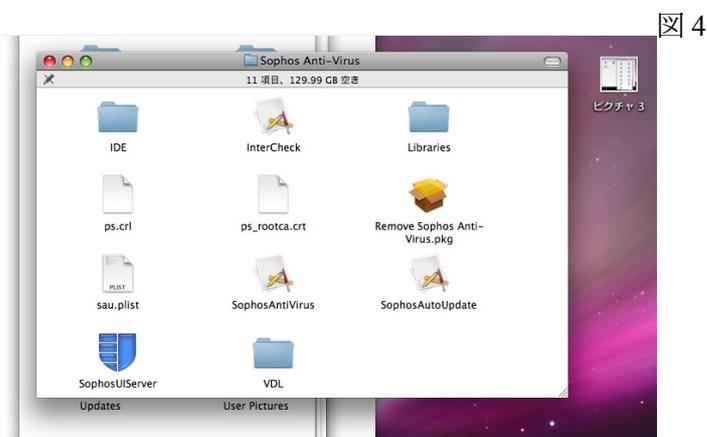


図 4

「SophosAnti-Virus」フォルダの中にある「Remove Sophos Anti-Virus.pkg」をダブルクリックします。

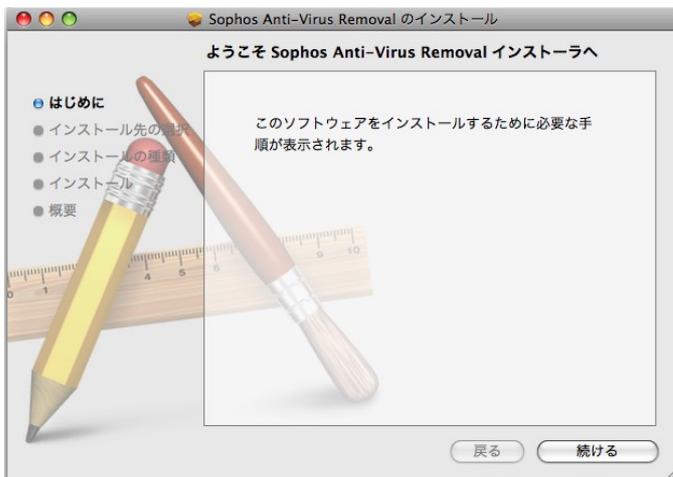


図5

するとインストーラが起動してきます。(図5)



図6

インストール先を選択して下さい。(図6)

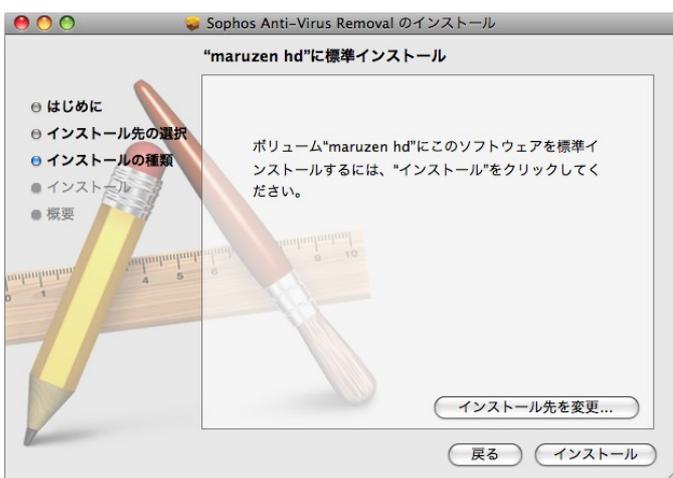
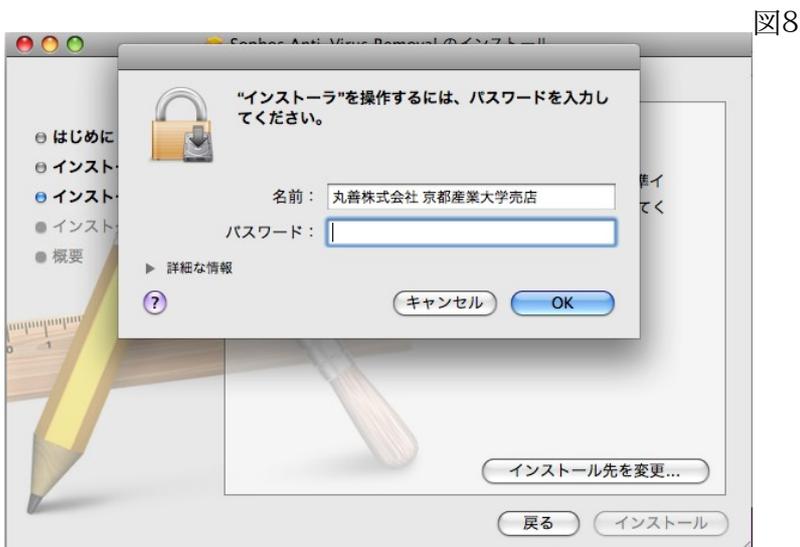
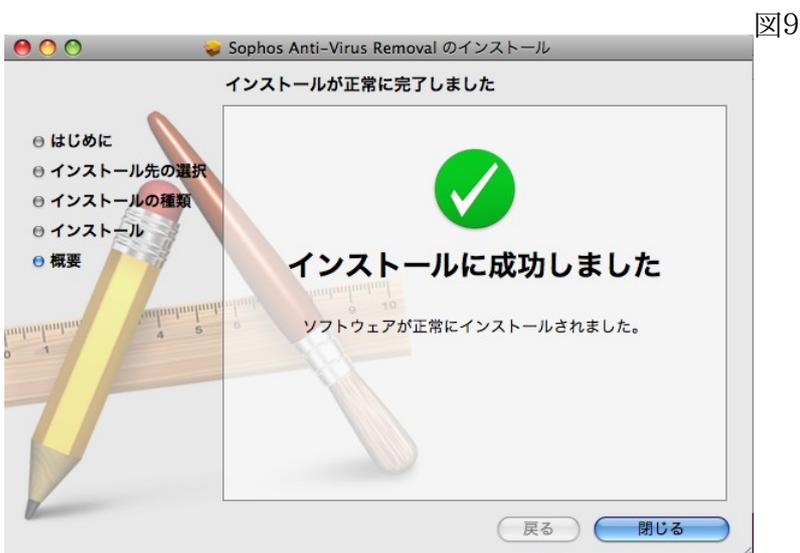


図7

インストール先を選択後図7の画面になったら、右下のインストールボタンをクリックします。



OS のログインパスワード(起動時に入力するパスワードです)を入れていただいて、OK ボタンを押します。(図8)



アンインストールが成功します。図9の表示ではインストールになっていますがアンインストーラーを使う場合は、アンインストールソフトをインストールすることでアンインストールするという手順になります。

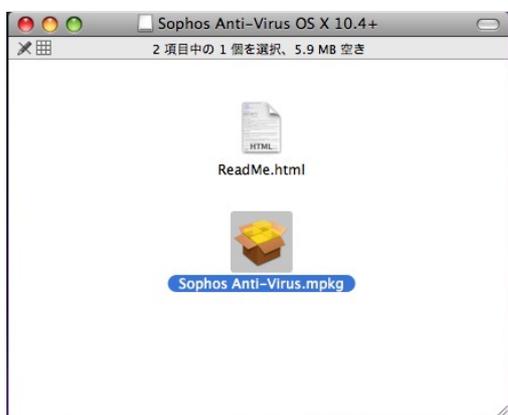
3.新バージョンのインストール

図10



次に新バージョンのインストールに移ります、事前に用意しておいたインストーラを使います、このインストーラは CSE ヘルプデスクに USB メモリを持ってきていただければお渡しします。Sophos Anti-Virus OS X10.4+というフォルダ図10がありますので開いてください。

図11



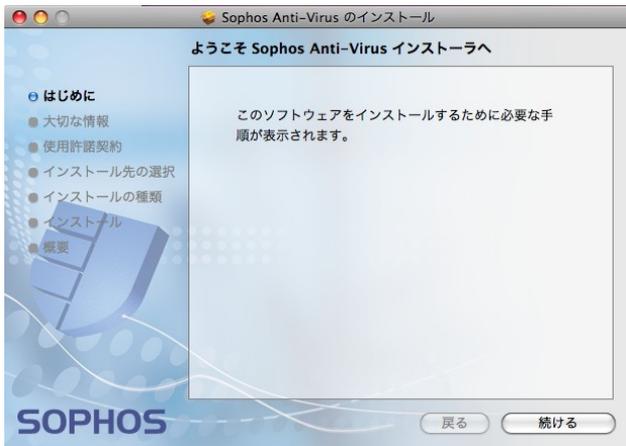
中に SphosAnti-Virus.mpkg という名前のファイル図11がありますのでダブルクリックします。

図12



続けるボタンをクリック(図12)

図13



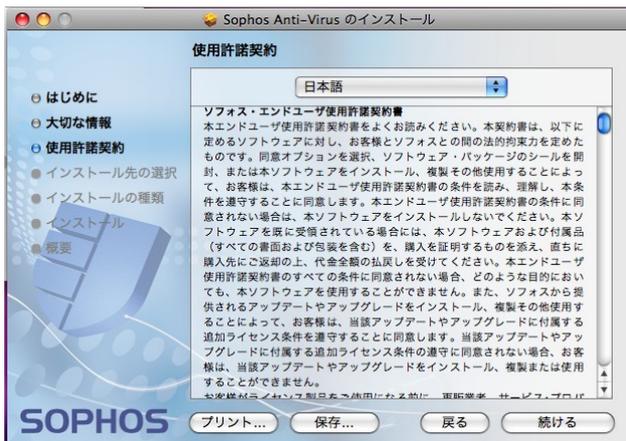
続けるボタンをクリック。図13

図14



リリースノートが表示されます
バージョン 7.05 と表示されています、続けるボタンをクリックしてください。図 14

図 15



使用許諾契約書を読んでから続けるボタンをクリック。図 15

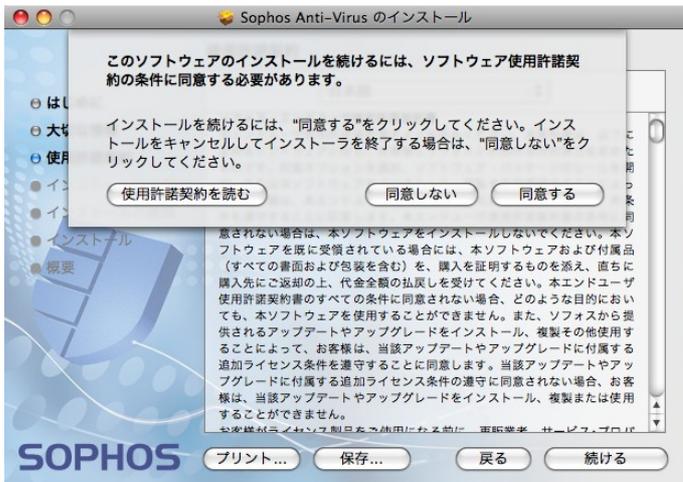


図 16

許諾契約条件に同意するなら、同意するボタンをクリック。図 16

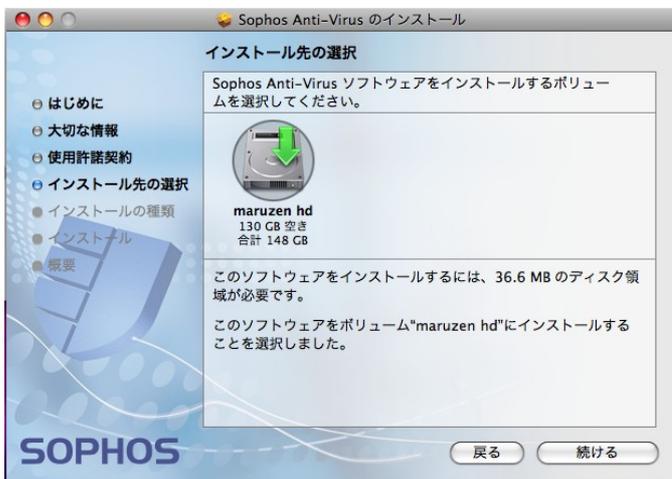


図 17

インストール先を選んで、続けるボタンをクリック。図 17

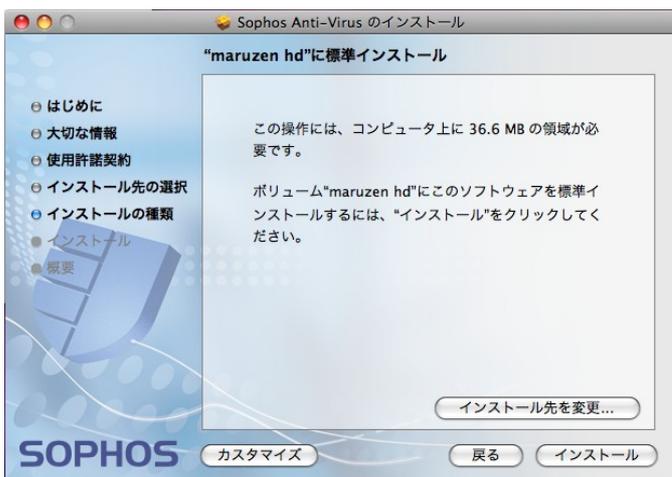


図 18

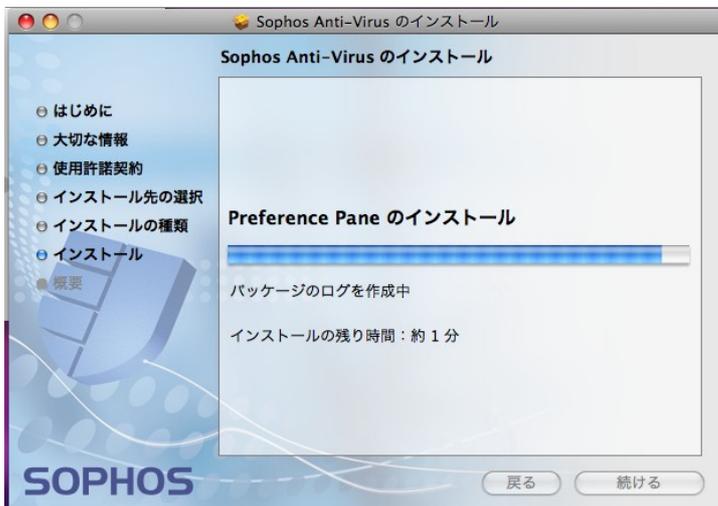
インストールボタンをクリック。図 18

図 19



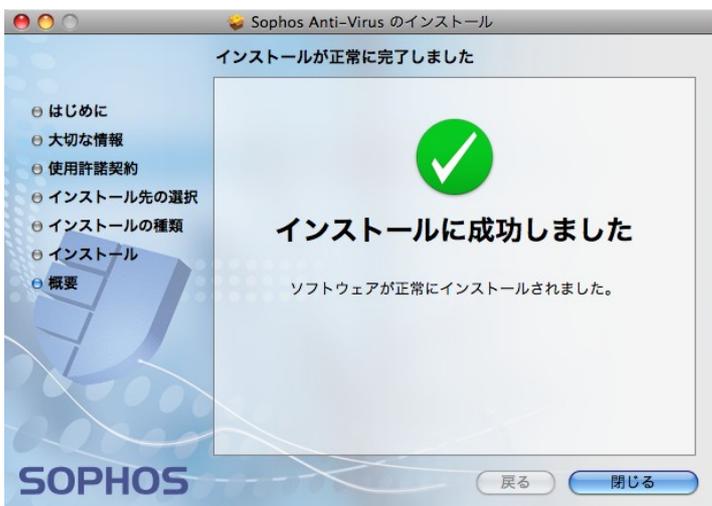
アンインストール同様に入力したパスワードを入力し、OK ボタンをクリック。図 19

図 20



インストール開始。

図 21



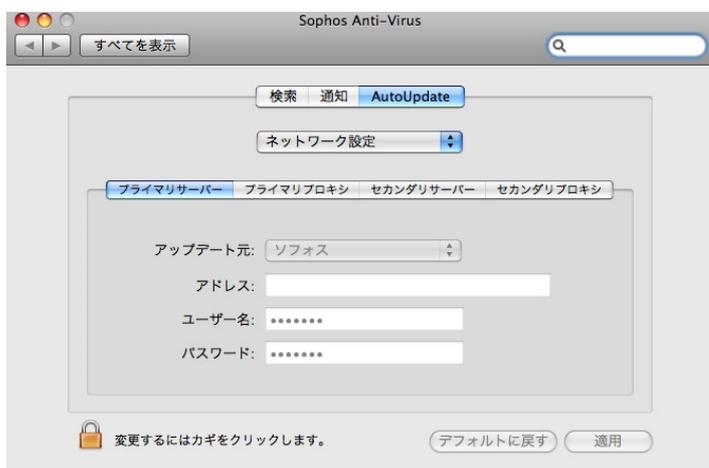
インストール完了、閉じるボタンをクリック。
4, AutoUpdate 機能を設定する。

図 22



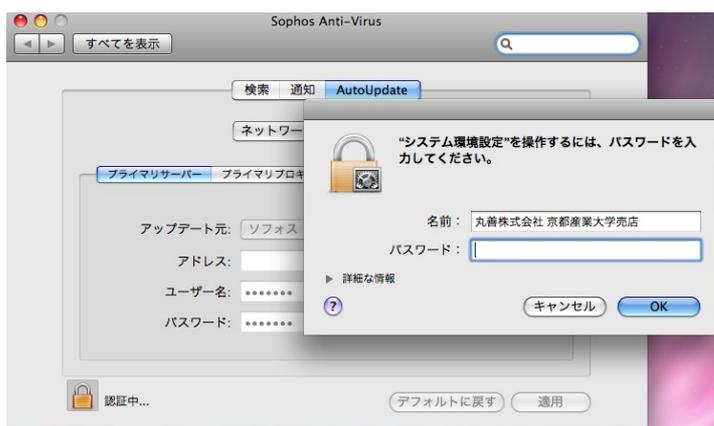
画面右上のアンチウイルスのソフトのアイコン(盾の形をしています)をクリックして出てくるプルダウンメニューの中から「環境設定を開く…」を選択。

図 23



AutoUpdate タブを選択、左下の鍵マークをクリック。

図 24



パスワードを入力してから、OK をクリック。図 24

図 25



ユーザ名とパスワード欄に SophosLicenceSchedule シート(パソコンのご購入時に同梱しています)の Security 項目に表記されている EM 欄の ID とパスワードを入力する。

例 emXXXXXXXXXX の様に 10 桁の数字で構成されています、パスワードはその隣の 9 文字の英数字です。

図 26



入力後右下の適用ボタンをクリックします。
 以上でオートアップデート機能が有効になります。

図 23



図 22 では選択できなかった「今すぐアップデート」が選択できるようになりました。
 ネット環境に接続してから「今すぐアップデート」ボタンを選択してください。



図 24

ダウンロードが始まります。



図 25

ダウンロード完了でアップデートも完了です、これで SnowLeopard をインストールしても大丈夫です。

Q&A

Q1、Sophos をアップデートする前に SnowLeopard をインストールしてしまったのですが？

A1、このマニュアルの“2、旧バージョンのアンインストール”からはじめて頂いて、新バージョンに入れ替えていただければ大丈夫です。

Q2、Sophos のライセンスシートがありません。

A2、ご購入時に CD と一緒にお買い上げのパソコンの箱に入れております、ご確認ください。

Q3、Autoupdate が有効になりません

A3、このマニュアルの“4、AutoUpdate 機能を設定する。”の手順をもう一度試してください。

その他不明な点がございましたら CSE ヘルプデスク(8号館2階丸善パソコンコーナー内)もしくは丸善パソコンコーナーまでお問い合わせ下さい。